

## JRRN の皆様へ

### 「台湾河川再生ネットワーク」のホームページリニューアルのご案内

<http://trrn.wra.gov.tw>

#### 【1】はじめに

地球温暖化による極端な気候変化は、洪水や干ばつなどの災害を世界の各地にもたらし、経済発展の中であって、人間と自然の関わり方は如何にあるべきかについて、各国政府は改めて考え始めています。

台湾は、地形的に中央山脈の影響を受け、一般に河川は短く、また勾配が急であり、豊水期と渇水期の河川の様子は極端に異なることから、河川の管理が非常に厳しい特徴があります。

台湾經濟部水利署は、河川管理の台湾の最高機関として、近年は積極的に生態に配慮した川づくりを導入するだけでなく、これまでの河川整備計画に関わる資料や基礎データを体系的に整理し、台湾河川再生事業のデータベースの役割を担うことを目的として「台湾河川再生ネットワーク」を設立しました。

これまでは、河川再生に関わる基礎資料は県や市などの水利管理部門及び河川局のみが所有しておりましたが、今回のホームページのリニューアルは、こうした情報を公開し、また民間組織の活動内容を取り込んでいくことを目的に実施しました。

#### 【2】ホームページの利用者

本ホームページは、河川再生に関わる「政府機関」「民間組織」そして「一般人」の3方向への情報発信を想定しています。

政府機関は、本ホームページを通じて、関連ニュースや河川再生成果、また研究成果や統計データ、河川再生の考え方などを社会に普及することができます。

民間組織（大学、研究機関、NGO等）は、本ホームページを通じ、それぞれの活動や研修会の報告、コラムや論文を発表することが可能です。事前に許可を得たNGO組織は、本ホームページを通じて、様々なテーマに関する議論の場（フォーラム）を設け、モデレータとなってテーマ別のコミュニティを構築することも可能です。

また一般の方々に対しては、RSS方式で情報を提供したり、定期的にイベントを開催

し、河川再生の取り組みに簡単に参加できる機会を提供します。例えば本ホームページをリニューアル後に開催した「河川撮影コンテスト」では 16,000 人の方々が参加しました。

### 【3】サイトコンセプトの伝え方

本ホームページのトップ画面にアクセスすると、はじめに Flash 動画で、河川再生の理念が表示されます。すなわち、本サイトのコンセプトでもある「適切な方法で河川を再生し、人間活動によって失われた生態環境を取り戻し、環境の質の向上を目指します」というメッセージを冒頭で伝えています。

またこの Flash 動画は 4 つの画面に分かれており、人と河川の 4 つの関係を説明しています。

1. 川は人と生物にとって共有の生命源である
2. 旧来の河川整備・工事では河川生態を消失させてしまった
3. 現在は自然を尊重した生態に配慮した河川整備を導入した
4. 生物の生息地と合わせて、人と川の触れ合いの場を創造する



冒頭の動画のトップ画面



冒頭の動画の4枚目

#### 【4】ホームページの機能の紹介

本ホームページは、河川再生に関わるニュース、台湾の河川紹介、台湾国内及び海外の河川再生事例集、講演会等の行事、及び関係出版物で構成されています。特に「川とともに」の中の、これまで実施した河川再生事業の再生方法とその写真は、その川のエピソードや地域のボランティア活動、及び現在の様子を合わせて掲載しています。一般の方々に再生河川の変化の様子を感じて頂ける様な工夫を凝らしています。



サイトマップ

## 【5】今後の期待

今回の「台湾河川再生ネットワーク」ホームページのリニューアルは、全体計画の第一歩に過ぎません。河川再生に関わる知識、技術、及び活動の情報発信により、今後さらに多くの方々がこのホームページを利用し、情報交換を行い、河川再生の理念が一般の方々の日常生活にまで浸透することを目指しています。河川再生は全民参加の環境保護活動であるということが、台湾全体に理解されることを願っています。

以 上

## 【問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

財団法人リバーフロント整備センター 内

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 ロフター中央ビル7階

Tel: 03-6228-3860 Fax: 03-3523-0640 E-mail: [info@j-rr.net](mailto:info@j-rr.net) URL:

※JRRN 事務局は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、(財)リバーフロント整備センターと(株)建設技術研究所が運営を担っています。